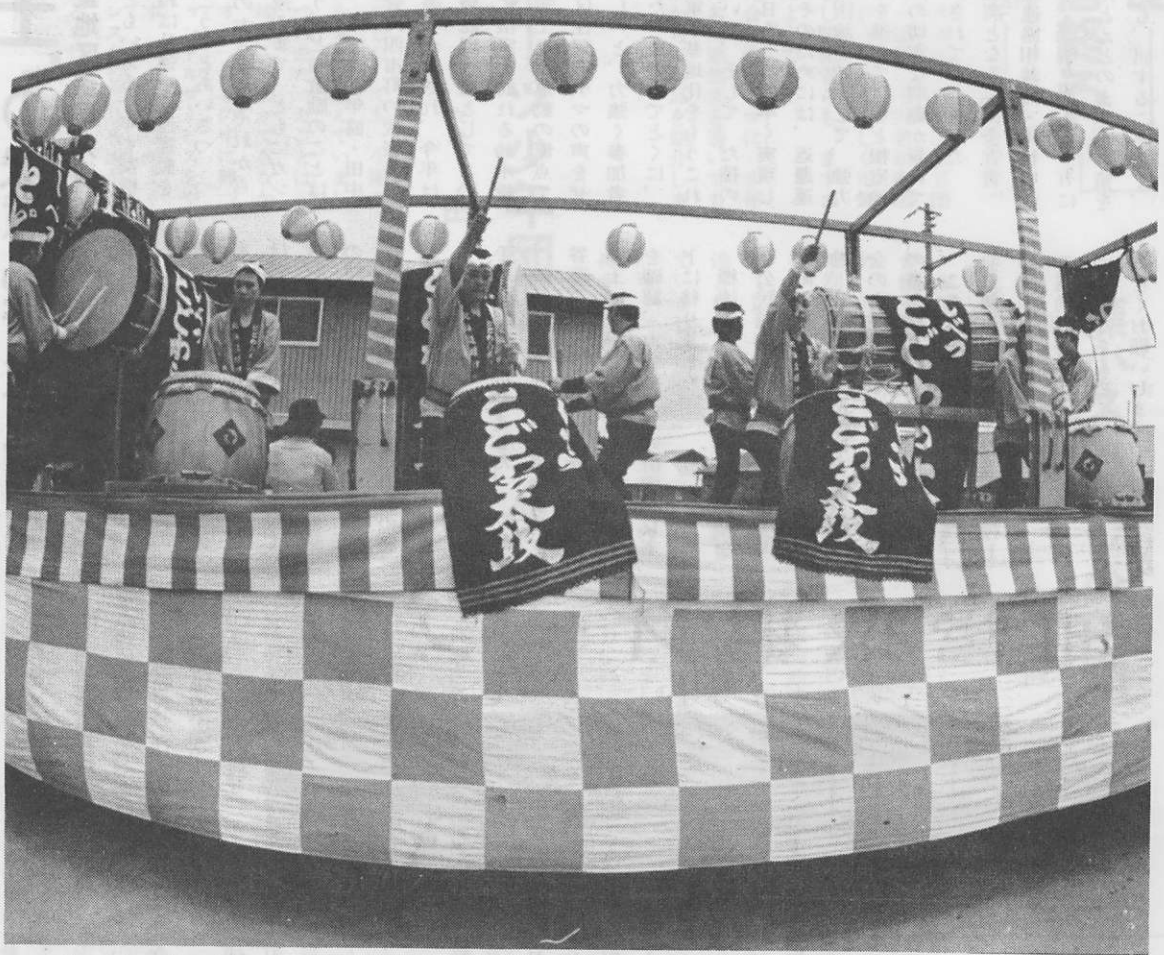
広報　第174号

しべつ

昭和56年
9/1



鼓動のごとく（標津神社例大祭）　西山陽一氏撮影（住吉町）

主な内容

「返せ〃　北方領土」の決意も新たに …… 2面
町営球場オープン …… 2面
台風の爪跡深く …… 3面
標津町農村総合整備計画 …… 4面
国鉄標津線を利用しましょう ほか …… 5面
カメラレポート・一口メモ …… 6面
スポーツ少年団強化合宿終る ほか …… 7面
お知らせ・寄付 ほか …… 8面

人のうごき

〈8月1日現在〉
世帯数2,195世帯（△14）
人　口7,390人　（△40）
男　3,704人　（△23）
女　3,686人　（△17）
※（ ）内は前月比

編集発行／標津町総務部総務課広報係／標津町字標津3－5　☎㊷2131／印刷／標津印刷株式会社

たばこは町内で買いましょう（一〇本で三〇円、55年度で三、一五〇万円が町の収入）

「返せ!!北方領土」の決意も新たに

北方領土返還要求根室地区住民大会

〝目の前に浮かぶ島を早く返して〟と叫びつづけて戦後36年、北方領土引揚者などの世代もかわりつつあるいま、運動の輪をさらに大きく全国に広めようと「北方領土返還要求根室地区住民大会」が八月三十一日午後一時から標津町中央公民館を会場に、根室管内一市四町から約四〇〇名と多数の来賓を迎へ盛大に開催されました。

この日は、標津地方では八月末の天気では近年にない暑さ。会場は返還に寄せる参加者の熱気も加わって、大会気運は最高潮。

まず、志半ばで亡くなった旧島民の御霊（みたま）に黙とうをしたあと、大会実行委員長（標津町長）があいさつを行い、議長団に標津町会連合会長（高橋明氏）、標津町婦連協会長（大角ミヨ氏）、標津町青年協会長（滝本清氏）の三氏を選出し、議事に入りました。

大会長（根室市長・代理）は「北方領土元年ともいえる今年を契機に、さらにねばり強い返還運動を展開して行こう」とあいさつ。つづいて来賓の方々それぞれから「北方領土還るまで、ともにガンバリましょう」との激励のことばがあり、後、標津町青年協・田中利博氏他、管内四市町の代表者によって決意表明がなされ、今年はとくに、現職総理大臣としてこの十日に初めて根室を訪れる鈴木総理に、北方領土返還運動の原点である根室地区住民のナマの声をぜひ聞いて欲しいと、力強く参加者に訴えました。この中でとくに、北方領土の軍事基地化をもうこれ以上許さないで、そして、だ捕のない平和な日を一日も早く実現して欲しい。そのためには、返還運動における国論を統一して、強力な外交交渉を進めて、など根室地区ならではの切実な問題が新めて浮きぼりにされておりました。

大会の基調となる「大会宣言」が標津町婦連協相談役・田村君江氏によって、「北方領土の専有にソ連邦がたとえどのような方策を講じようとも、屈することなく、あくまで早期平和解決を目指して、粘り強い運動を続ける」と朗読、引き続き町議会総務常任委員長の菊池十一氏が「北方領土は日本固有の領土。この返還実現まで我々は頑張ることを決議する。よって政府は、今後一層強力な国民世論の結集を図り、強力な外交交渉を行って、早期に日ソ平和条約の締結と北方領土の返還が実現するよう切望する」と発表し、万雷の拍手でこれを採択しました。

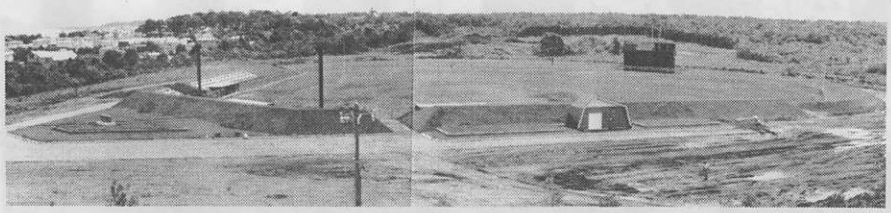
終りに、標津町観光協会会長・谷藤正氏の音頭で〝返せ！北方領土〟と参加者全員で唱和し連帯を確認、大会第二部の街頭パレードに移りました。

標津とどわら太鼓が鳴り響くなか公民館前を出発、沿道では多くの町民が手をふってパレードを激励、終着地で大沼町議会議長が閉会のあいさつを行い、大会は一切の幕を閉じました。

この大会に反映されたように、北方領土の返還はまだまだ道険しの感がありますが、大会の日一日の運動に終ることなく、今後に向ってみなさんのご理解ご協力をよろしくお願いします。

町営球場オープン

8/20から使用開始



標津町総合体育館横に、町民待望の球場が完成し、八月二十日には安全祈願式が行われました。

この球場の広さは、センター一二〇メートル、両翼九一メートル、軟式野球では公認基準のもので、スコアーボードも備えています。内野観覧席は、ネット裏も含め六〇〇人を収容でき、外野芝生席を含むと数千人が観戦できます。

安全祈願式のあと、この日は、球場開きとして標津高校野球部と町内の同高野球部OBとの試合が行われました。勝敗は、ホームラン二本を打ったOBチームが七対六で勝利を得ました。

九月九日、十日には、全道高校野球秋季大会（新人戦）根室ブロック予選、十八日、十九日、二十日には、釧根地区の同大会が行われることになっており、標津高校野球部の活躍を多いに期待したいものです。

なお、一般町民の使用料は免除としますが、日本軟式野球連盟登録の天皇杯、高松の宮杯一部・二部、国民体育大会、東日本一部・二部および町外の者の使用については、つぎの基準で料金をいただきます。

使用料　一チーム十五人以内二時間まで二、〇〇〇円。超過料金は、一人増すごとに二〇〇円、三十分増すごとに五〇〇円加算されます。利用申込みなどくわしくは総合体育館☎②3110番へ。

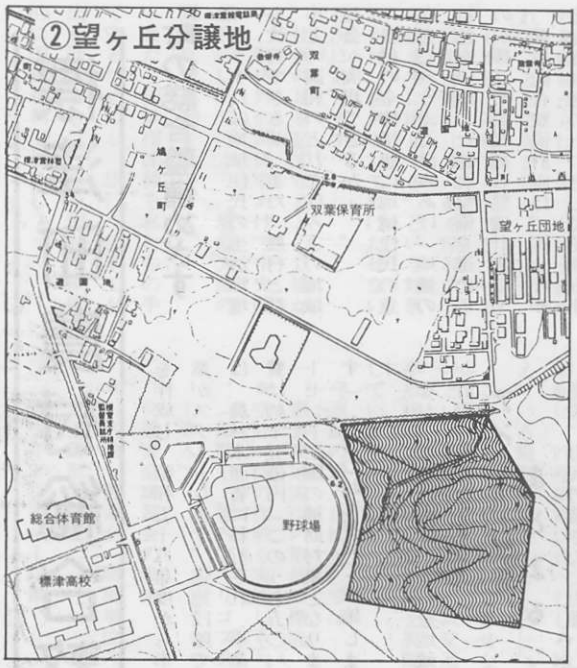
町有宅地77区画分譲

町では、標津市街二地区の宅地分譲を年内に予定しており、後日新聞折込などでお知らせします。

●**弥栄町分譲地**――図面①
十五区画（一区画平均坪数一一四坪）

●**望ヶ丘分譲地**――図画②
六十二区画（一区画平均坪数一二〇坪）

くわしくは役場管財係☎②21 31内線105へおたずね下さい。



今月は、固定資産税二期の納期です。納期内に完納を。

台風12号の爪跡深く

上忠類橋に被害――落橋のため通行止め

八月四日夜から六日の朝にかけての集中豪雨で、本町では住宅への浸水こそありませんでしたが、河川を中心に多くの被害が発生しました。

土木被害

■橋梁
①道々川北古多糠線上忠類橋落橋
全長一二五㍍中二四・四㍍（古多糠市街側）

■河川
①薫別川左岸河岸欠壊
薫別市街上流被害延長二〇〇㍍、ふ化場付近被害延長八〇〇㍍、障害物除去四、五〇〇㍍
②崎無異川
障害物除去一、〇〇〇㍍
③忠類川左岸河岸欠壊
被害延長三〇〇㍍

■道路
①川北々四線道路
冠水による損壊四〇〇㍍
②川北西八号道路
路肩欠壊一〇〇㍍
③標津川沿道路
冠水による損壊八〇〇㍍

水産被害

■漁網
①薫別海岸地先
流木による漁網の損傷七件

衛生施設被害

■水道
①水源（ウラップ川）
水源取水施設内に土砂流入埋没

その他被害

標津川捕獲場施設――倉庫床下浸水など二件

――＊――＊――

今般の災害で最大の被害をうけ、現在通行止めとなっている道々川北古多糠線（上忠類橋落橋）は、古多糠と川北の住民の直接の生活道路としてばかりでなく本町における重要な幹線道路です。

町では、一日でも早い復旧を道に対し強力に働きかけをした結果、年内には復旧する見込みになりました。

新生活運動とは、生活を高め住みよい社会を作る住民運動です

標津町農村総合整備計画

町の総合整備めざす

どうすれば地域住民の生活環境を改善できるか、また、農村と都市との調和のとれた住みよい地域社会が実現できるか―。

農村の全体構想に地域住民の意向をじゅうぶん汲みあげ、地域の特色をいかした総合整備を進めるのが標津町農村総合整備計画です。

農村総合整備計画は、国土庁が定住圏構想の一つとして昭和五十二年度からスタートしたもので、全国の農業振興地域から特定の市町村を選び、モデル的に農村の整備計画を国土庁の指導のもとに、町が自主的に町づくり計画を作成するものです。

この計画は、今年度が最終指定年度で、全国八十五市町村、道内では根室管内初の指定である本町をはじめ浜中町、鶴居村、帯広市など六市町村が指定されました。

今年度でマスタープランをたて、計画書を作成し国に提出します。提出後、農村総合整備モデル事業の指定を受け具体的事業実施計画を作成し、昭和五十八年度から事業がスタートします。実施段階では、農林水産省に移行され、事業費は約十五億円（このうち五〇パーセントが国の補助対象となります。）、おおむね七年間で実施します。

なお、この計画は、本町全地域が計画対象となります。

アンケート調査まとまる

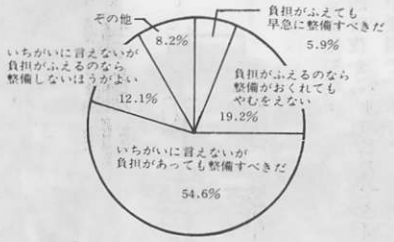
過般、町民の皆さんにお願いしたアンケート調査の第一次結果がまとまりました。

このアンケート調査は、今年三月末日の住民基本台帳登録人口七、七三〇人中二、〇〇〇人を、地域別、性別、年代別に無作為抽出したものです。その結果、回収者一、四六六人、七三・三パーセントという高回収率でした。（普通、アンケートの回収は五〇パーセントを超えれば良しとされている。）

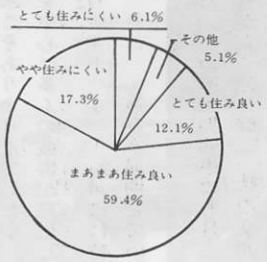
町民の皆さんが、町政に強い関心を持っていることが感じられました。

主な内容をグラフで紹介します。

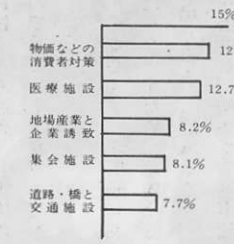
公共施設を整備する費用は何らかの形で住民負担しなければなりませんが、費用負担についてお答えください。



標津町はあなたにとって住み良いところですか



標津町に対して特に力を入れてほしいもの（上位五項目）



■標津営林署統廃合反対■国鉄標津線廃止反対

署名運動に協力を

―標津町連合会―

国鉄標津線が、経営合理化の名のもとに第二次廃止の対象となっており、標津営林署も林野庁の第二次統廃合の対象になることがじゅうぶん考えられます。

これらが廃止、統廃合された場合、本町の経済および減少傾向にある町の人口減にも拍車をかけることになり、影響は大きく重大な問題です。

いまから政府当局に対し、国鉄標津線および標津営林署が、恒久的に存置するよう住民一丸となって積極的な運動を進めなければならないと思います。

標津町会連合会（高橋明会長）では、運動の一環として署名運動を行っています。町民の方全員が本趣旨をご理解のうえ、署名運動に参加くださいますようお願いいたします。

総合で準優勝

第13回道民スポーツ根室管内夏季大会 第21回根室管内スポーツ交歓大会

八月三十日中標津町において、第十三回道民スポーツ根室管内夏季大会および第二十一回根室管内スポーツ交歓大会が行われました。本町からも、役員を含め百三十人が参加し総合で準優勝しました。種目別成績はつぎのとおりです。

▼野球一般・準優勝 ▼同OB・五位 ▼卓球男子・三位 ▼同女子・優勝 ▼バレーボール男子・準優勝 ▼同女子・四位 ▼テニス（中止） ▼バドミントン・四位 ▼バスケットボール・四位 ▼剣道・優勝 ▼柔道・準優勝 ▼相撲（中止）

国鉄標津線を利用しましょう

廃止になってからではもうおそい

国鉄標津線を存続させるには、〝住民の皆さんが、一人でも多く国鉄を利用すること〟です。

地域振興に欠くことのできない交通機関、国鉄標津線は、第一段階（昭和五十七年度まで）の廃止対象路線からは、辛うじてまぬがれることができました。

しかし、運輸省が発表している〝国鉄赤字ローカル線を昭和六十年度までに廃止する〟という対象からは、依然としてぬけだせない状況にあります。

住民の足を必ず守るとの立場から、町内外の関係者あげて中央関係官庁に対し、より一層最大限の廃止反対運動を行います。

また、国鉄標津線を私たちの手で守るためにも、旅行や仕事でお出かけのときは、車を使わず積極的に国鉄を利用しましょう。

九月十九日、第二十一回下水道促進デー（下水道伸ばして住みよい町づくり）

第2次 交通事故撲滅緊急100日作戦実施中

8／23～11／30

去る、八月二十三日から中標津警察署管内において、第二次交通事故撲滅緊急一〇〇日作戦を実施しています。

四月六日から七月十四日までの第一次一〇〇日作戦終了後まもなく、この作戦が終るのを待ちかまえていたように三名の死者を出す事故が発生し、今年の交通事故死者数は、昨年同期に比べむしろ増えている最悪の状況になりました。

これ以上交通事故は起こさせないという決意からこの第二次交通事故撲滅緊急一〇〇日作戦を展開しています。

今運動の重点目標としては、

一、悪質交通違反の取締り徹底
●空陸一体の作戦を実施します。
（期間中、管内にヘリコプター導入）
二、交通安全講習会の実施
●町内会、部落会、職場単位の安全講習会開催
三、青少年ドライバー対策
●ヤングドライバーへの訪問作戦、懇談会など
四、輸送繁忙期対策
●建設業、集乳運送業者や番屋、鮭運送業者に対する訪問指導など

こういった四大重点目標の中でも、青少年ドライバー対策には特に重点をおいて運動を展開していきます。

また、この運動期間中の九月二十一日から一〇日間、「秋の交通安全道民総ぐるみ運動」も実施されますのでよろしくご協力ください。

町民のみなさん！　本町から交通事故死をなくすため〝家族ぐるみ〟〝職場ぐるみ〟〝地域ぐるみ〟の運動を展開し、悲惨な交通事故をみんなの力で追放しましょう。

また、悪質な運転者を発見した場合、最寄りの警察か役場交通防災係に通報してください。

9／1～10／31

国民年金制度普及推進運動

ご利用ください国民年金相談コーナー

町では、国民年金制度ならびに通算年金制度の内容を、広く町民に周知し、制度に対する正しい理解と認識を深めていただくため、国民年金制度普及推進運動を実施しております。

国民年金の手続きなどでお困りの方、また、年金制度の内容などについてくわしく知りたい方のため、つぎの日程で「国民年金相談コーナー」を開設します。

■中央公民館　九月十六日
■川北公民館　九月十八日
時間は、いずれも午前十時から午後四時までです。

このほか、役場国民年金係では、いつでもご相談に応じております。お気軽にお問い合せください。

また、町内の国民年金組織や各団体などで、年金についての相談や要望がありましたら、「国民年金説明会」も予定しています。役場国民年金係☎②2131内線109まで連絡を。

九月期の年金支払額は

九月は、国民年金の支払月です。国民年金の拠出年金（老齢、障害、母子年金など）は、支払月の前月までの三ヵ月分をまとめて、各支払月に支払われることになっています。

九月期に支払われる年金は、六月、七月、八月の三ヵ月分です。

しかし、本年度の法律改正において物価スライド制が実施され、本年七月から年金額の引き上げが行われることになりました。九月期の支払いについては、引き上げ前の六月分と引き上げ後の七月、八月分の年金額になります。

なお、年金額のうち母子・準母子年金に加算される母子加算などについては、引き上げの対象になりません。

カメラレポート

▲7月28日　老人スポーツ大会

▲8月6日　沖縄豆記者来町(北方領土館)

▲7月28日　衆議院沖縄及び北方問題に関する特別委員一行来町

▲8月5日　電通無事故5,000日達成記念式

▲8月20日　交通安全啓発(電通・交通少年団)

▲8月3日　夏の交通安全運動
スピード抑止カード作戦(標津～ラウス)

今月の川柳は休ませていただきます。

一口メモ

北方の島々 ―国後島―

北方領土(歯舞群島・色丹島・択捉島・国後島)の中で、私たちの町からわずか二四キロメートル隔てて望むことのできる国後島。

国後島とは、「木の生い茂った島」「暗い島」を意味し、総面積は一、五〇〇平方キロメートルで沖縄の約三分の二にあたります。

終戦当時には、一、四二〇世帯、七、三七〇人が住んでおり、泊村、留夜別村には、役場・警察署・営林署・裁判所・サケマスふ化場などの官公署がありました。また、十五の学校では、一、四二三人の児童が学んでいました。

産業としては、漁業中心で古くから根室・厚岸とともに「奥の三場所」として知られており、捕れた魚は根室に出荷されるほか、地元の缶詰工場や加工場で製品化し、出荷されていました。

林業も盛んで、トドマツ・エゾマツなどの製材は、根室・函館方面に搬出されていました。

国後島を眼前に暮す私たちには、早期返還への願いがつのるばかりです。

スポーツ少年団強化合宿終る

――11団体29人が参加――

去る、八月四日から六日までの三日間、町営リンクを主会場に第二回標津町スポーツ少年団リーダー育成強化合宿が開催されました。

この合宿は、スポーツ少年団のリーダーとしての資質の向上と相互の親睦を深めることを目的として教育委員会主催、スポーツ少年団本部（本部長・荒谷良治）主管により実施されました。

今回は、スポーツ少年団十五団体のうち十一団体二十九名が参加し、全スケジュールを楽しく元気一杯にこなし関係者らも、まずまずといったようでした。

この強化合宿をテーマに、少年団員二十九名に感想文を書いてもらったなかから二作品を紹介します。

標小スポーツ少年団

五年　葛迫留美

私は、スポーツ少年団リーダー合宿をして、とても心に残りました。班は、活動班としゅうしん班に別れて、活動班は食事のしたくをしたり、だしものなどを決めそしてしゅうしん班は、仲のよい友達とねて、みんななかよく活動していました。

キャンドルサービスの時、火の神があらわれて、火の話をしてくれました。それから班のだしものをしたり、歌をうたったり、フォークダンスをしたりして、あせいっぱいのみんなでした。今度は決意表明の時、私が言う時あせってあせっておちつきませんでした。

ねる時は、四日の日雨がふって男子と女子に別れて、リンクハウスでねました。五日の日は、四日の日にねぶくろがぬれてしまい、体育館で男子と女子いっしょにねました。テントでねれなかったのでがっかりしました。

体力テストでは、私ができなくなって、先生たちの手伝いをしていました。五分間走では、私もみんなと走りたくてたまりませんでした。

私からみて、みんなリーダーとしていっしょうけんめいに何事もがんばっていました。

六年生の人は、最後の合宿だから強く心に残ったと思います。

これからの部活動に力をいれて、みんながんばってほしいです。

忠類ハマナススポーツ少年団

六年　田中哲人

ぼくは、このキャンプに参加してみて始めに夕食を作る時、ごはんがどういうふうにできあがってくるか心配でした。でも、その心配はいりませんでした。ごはんはみんなで食べていたので、とてもおいしく感じました。

夜になって、しゅうしんはんでねることにしました。外は雨だったのでテントにねれなかったので、とても残念でした。でも、小屋の中でもみんな楽しく遊んでいました。もう一つ残念だったことは、金山スキー場で、登山ができなかったことです。一番心の中に残ったのは、キャンドルサービスをやったことです。みんなとなかよくフォークダンスをしたり各班からのだし物などもして、楽しく遊んだりしたことが、とても心にのこっています。

最後の日の体力測定の時、ふだんソフトボール・卓球などの練習をしているよりも苦しくて、とてもつかれました。

ぼくは、このキャンプでみんなとごはんをたいたり、キャンドルサービスなどをしたことがとても楽しく、いつまでも、わすれられません。

健康相談日＝九月十一、二十五日　午前九時から午後三時まで　役場（基幹集落センター）健康相談室

人のうごき

●標津営林署
署長　須田文男
（足寄署から八月七日着任）

●釧路地方法務局標津出張所
所長　角鹿（つのか）末吉
（釧路地方法務局から八月五日着任）

●陸上自衛隊標津分屯隊
副長　二本松良彦
（東千歳第七師団から八月七日着任）

●根室支庁　根室北部地区水産技術普及指導所
所長　鈴木貫太郎
（網走普及指導所から八月七日着任）

入館者四万人突破

―北方領土館―

昭和五十四年十二月三日にオープンした「北方領土館」は、連日多くの入館者でにぎわい八月二十七日には、ついに四〇、〇〇〇人を突破しました。

北方領土返還要求の署名者も一七、五〇〇人と、運動は一層の盛りあがりをみせています。

町技…剣道　町木…ななかまど　町花…はまなす

広報しべつの表紙写真を皆さんから募集します。くわしくは、総務課広報係まで

九月のスポーツ教室
―総合体育館―

勤労者のための水泳教室
日時　九月一日から四日まで
午後六時から午後八時まで
対象　町内に住んでいる勤労者

女性のための水泳教室
日時　九月八日から十二日まで
午前十時から正午まで
対象　家庭婦人および一般女性

水泳教室
日時　毎週金曜日
午後六時半から午後八時まで
対象　一般男女及び参加者の子供

子供のための水泳教室
日時　毎週土・日曜日（二十七日は除く）
土曜日は、午後三時三十分から午後五時まで。日曜日は、午前十時から正午まで
対象　小・中学生五十名

水泳マークテスト（泳力挑戦）
日時　九月二十七日　午前十時から
対象　町民全員
申し込みは、総合体育館かプールへ。会場は、町屋内プールです。

婦人テニス教室
日時　九月十七日、十八日、十九日、二十二日、二十五日
午前十時から正午まで
対象　家庭婦人

婦人健康づくり教室
日時　九月二十九日（十月の毎週火・木曜日）
午前十時から正午まで
対象　家庭婦人

婦人バドミントン教室
日時　九月三十日（十月の毎週水曜日）
午前十時から正午まで
対象　家庭婦人
申し込み、会場は総合体育館です。

標津病院産婦人科開設　九月中旬・診療開始

くわしくは後日、新聞折込でお知らせします

寄付

―ありがとうございます―

◎香典返しを廃し
～社会福祉協議会へ～
▼山崎政由　旭町
▼小野瀬始　住吉町
▼小野幸治　新川上町

◎活動資金として
▼聖友標津
▼谷内基　伊茶仁
～標津町へ～

◎標津町奨学資金基金として
▼小野幸治　新川上町
～国保標津病院へ～

◎備品購入資金として
▼田村博義　北川北

〈敬称略〉

電話局だより　NO・3

―電話にセッカチは禁物。
呼出音は10回くらいまちましょう―

役場窓口から 7月16日から 8月15日までの 届け出分です

《敬称略》

お誕生おめでとう

父の氏名	続柄	子の名	住所
笠井昭義	2女	千会	緑町
多田実	2男	康人	弥栄町
浜向傑	長男	陵	双葉町
後藤勝英	3男	全寿	栄町
千葉実	長男	祥一	東川北
石井政幸	長男	一生	双葉町
伊藤高一	長女	寿美	桜ヶ丘町
〃	2女	宝美	〃
木俵亮	長女	奈緒子	緑町
高橋勇吉	長女	理恵	北標津
橋元春行	2男	政博	緑町

おくやみ申し上げます

氏名	住所	年齢
山崎あきよ	旭町	85
竹村留治	上古多糠	57
上田吉次	旭町	91
小野タマ	新川上町	91

「標津町防災の日」
10月31日

……防災は不断の心構えから……

9・10月の不燃物収集日

▼九月二日　▼十月七日（水）
川北市街地区・伊茶仁
忠類・浜古多糠・薫別
崎無異・古多糠市街

▼九月三日　▼十月八日（木）
新川上町・川上町
栄町・緑町
弥栄町

▼九月四日　▼十月九日（金）
本町・鳩ヶ丘町
双葉町・桜木町
住吉町・東浜町

●以上の日程で燃えないゴミの収集を行います。
●必ず燃えるゴミと区別して出しましょう。